

問い合わせ先

海上保安庁第四管区海上保安本部

総務部総務課長 白倉 次成（内線 2110）

TEL052-661-1611

平成25年12月4日



## 平成25年管内ではこんなことがありました

～平成25年 第四管区海上保安本部10大（重大）ニュース発表～

第四管区海上保安本部は、平成25年に管内で発生した事件・事故、開催したイベント等の中から、「平成25年 第四管区海上保安本部10大ニュース」として、下記のとおり選考しました。

- 1位 大量の覚せい剤（約10kg）を名古屋港で摘発（7月～8月）
- 2位 巡視船「しょうりゅう」解役、最新鋭の消防型巡視艇「あおたき」が就役（3月～4月）
- 3位 パナマ籍貨物船「マオ・フェン8」集団密航事件（1月）
- 4位 巡視艇「しらいと」が解役、消防機能強化型の巡視艇「あゆづき」が就役（1月）
- 5位 セントレアに海猿配備（潜水士が乗船した巡視艇「いせゆき」を配備）（1月）
- 6位 三河港、遠州灘沖で船舶火災が相次いで発生（11月）
- 7位 災害拠点機能を強化した三河海上保安署新庁舎が完成（7月）
- 8位 3年ぶりに第四管区海上保安本部総合訓練を実施（9月）
- 9位 中部空港海上保安航空基地に性能が向上したベル412二機配備完了（6月）
- 10位 大王埼・安乗埼灯台が登録有形文化財に（3月）

## 平成25年第四管区海上保安本部10大ニュース

### 1位 大量の覚せい剤(約10kg)を名古屋港で摘発(7月~8月)



第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部は名古屋税関及び愛知県警察本部薬物銃器対策課との共同により、名古屋港弥富ふ頭89番岸壁に停泊中のカンボジア王国籍外国貿易船「シン ルイ6」号から覚せい剤9,993.1グラムの入った黒色袋を陸揚げし、不正に輸入しようとした中国人乗組員ら3名を摘発しました。

### 2位 巡視船「しよりりゆう」解役、最新鋭の消防型巡視艇「あおたき」が就役(3月~4月)



四日市海上保安部所属の巡視船「しよりりゆう」は昭和45年3月に四日市海上保安本部に配属となり、その後43年間にわたり、四日市港及び伊勢湾を通行する船舶の安全に尽力してきました。しかし、老朽化が激しく今後想定される大規模災害への十分な対応が困難なため、3月4日に解役となりました。「しよりりゆう」の解役に伴い、四日市海上保安部には、迅速な現場到着のための高性能や効率的な消火のための高い操縦性能を備えた35メートル型巡視艇「あおたき」が平3月21日に就役しました。

### 3位 パナマ籍貨物船「マオ・フェン8」集団密航事件(1月)



1月23日名古屋港検疫錨地に停泊中のパナマ籍貨物船「マオ・フェン8」号の煙突に潜伏していた中国人3名を船内捜索中の海上保安官が発見し、身分を証明する書類を所持していなかったため事情聴取を実施したところ、本邦に密入国する目的で同船に潜入、船内に潜んでいたことを認めたことから、現場において緊急逮捕しました。またその後同じく煙突内から発見された1名と、4名から報酬を得る目的で、同船内に潜伏させ、本邦への密入国を助長した同船甲板員についても緊急逮捕しました。

### 4位 巡視艇「しらいと」が解役、消防機能強化型の巡視艇「あゆづき」が就役(1月)



名古屋海上保安部所属巡視艇「しらいと」は昭和50年2月に第五管区海上保安本部堺海上保安署に就役、昭和52年2月に名古屋海上保安部に配属替えられ、以来35年の永きにわたり、海上保安業務の一線で活躍してまいりましたが、1月11日をもってその役目を終え解役を迎えました。「しらいと」の解役に伴い、名古屋海上保安部には1月29日付けで、消防機能強化型の35メートル型巡視艇が千葉海上保安部から配属替により就役し、「あゆづき」と命名されました。

### 5位 セントレアに海猿配備(潜水士が乗船した巡視艇「いせゆき」を配備)(1月)



1月21日巡視艇「いせゆき」が鳥羽海上保安部から中部空港海上保安航空基地に配属替となり、潜水士4名が乗船しました。海難船舶の遭難者等の救助活動において、潜水士とヘリコプターが密接に連携し、これまでより迅速に救助活動が行えるよう強化されました。

### 6位 三河港、遠州灘沖で船舶火災が相次いで(11月)



11月2日午前11時50分ころ、愛知県豊橋市の三河神野ふ頭2号岸壁に着岸し、スクラップを積み荷役していたベリーズ籍の貨物船(総トン数1,972トン・中国人14名乗組み)の貨物倉から火災が発生しました。乗組員は全員岸壁に退避し無事で、豊橋市消防本部及び三河海上保安署巡視艇により消火活動を実施し、火災は午後7時44分鎮火しました。翌3日には、静岡県浜名湖沖の遠州灘で愛知県蒲郡市の沖合い底引き網漁船(総トン数19トン・7名乗組み)の機関室から火災が発生し、巡視船艇により消火活動を行いましたが、漁船は浜名湖の南約26キロメートル付近海域で沈没しました。乗組員は全員付近を航行中の熊本県天草市の貨物船に救助され無事でした。

### 7位 災害拠点機能を強化した三河海上保安署新庁舎が完成(7月)



豊橋市神野神野ふ頭町にある豊橋港湾合同庁舎内に三河海上保安署の新庁舎が7月に完成し9月23日に落成式が行われました。新庁舎は地震や津波・高潮などの災害に備え、2階以上に執務室を、電気室や自家発電・防災備蓄倉庫を3階に設けており、災害活動拠点にも強い施設となっています。

### 8位 3年ぶりに第四管区海上保安本部総合訓練を実施(9月)



9月14日(土)、「第四管区海上保安本部総合訓練」を三重県鈴鹿市沖の伊勢湾で行いました。訓練は防災関係機関や民間救助団体と連携して行われ、一般公募の当選者等1388名が巡視船「みずほ」に乗船し、巡視艇の放水展示や吊上げ救助訓練など普段なかなか目にすることのできない各種訓練を見学しました。訓練は15日(日)も予定されていましたが、台風の接近により中止となりました。第四管区海上保安本部が総合訓練を行うのは3年ぶりのことです。

### 9位 中部空港海上保安航空基地に性能が向上したベル412二機配備完了(6月)



MH714「いせたか」に続いて、MH756が配属替となり、6月25日にベル412二機体制が整いました。MH756の愛称は「いせたか2号」。ベル412は、ベル212よりもパワーアップ・スピードアップしており、夜間監視能力も強化されています。

### 10位 大王埼・安乗埼灯台が登録有形文化財に(3月)



3月29日、鳥羽海上保安部が管理する、大王埼灯台、安乗埼灯台及び大王埼灯台の門柱と塀が、本年3月29日、登録有形文化財登録原簿に登録されました。大王埼灯台、安乗埼灯台は、三重県志摩半島の先端に位置し、伊勢湾・三河湾、遠州灘、熊野灘を結ぶ船舶交通の輻輳する海域の「海の道しるべ」として重要な役割を果たしています。